



duomo…イタリア語で町一番の教会という意味です。弊社がお客様や地域の人たちから親しまれ必要とされ町一番の会社になれるようにとの願いを込めてこの名前に決めました。

しとしとと雨が降っています。そろそろ梅雨に入る季節となりました。周辺の田んぼはもう田植えの終わっているところがほとんどです。私が小学生のころには、田植え休みというのがありました。今でこそ、田植えは機械でするのが当たり前ですが、そのころはすべて人力で雨の中農家の方が腰をかがめて植えているのが田植えの風景でした。小学生でも、田植え時期には家の手伝いをしなさいよ。という事だったのだと思います。今ではちょっと考えられないことですが、その当時は、農業、それも、お米作りは、生活の中心だったのでしょね。いつの間にか、端の方に追いやられていた感のあるお米ですが、今また、令和の米騒動で話題の主役になっていますね。(^^)

キッチン、和室、浴室、洗面室、トイレを断熱改修させて頂きました。(浴室、洗面室、トイレ編)



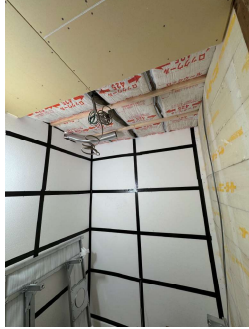
浴室解体前



浴室・洗面室解体後



土間コンクリートの下側に10cm厚の断熱材を敷き込んでいます。



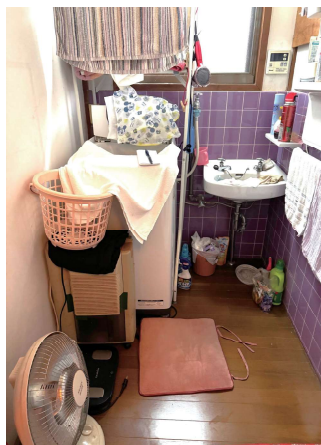
天井105mm厚の断熱材を2段重ね、外部に面した壁には45mmの断熱材内部の壁には25mmの断熱材を施工しています。



工事完了後
以前あった窓は撤去して壁にしています。

今回は、先月に引き続き4月に工事させていただいた浴室・洗面所・トイレの改修をご紹介します。浴室はTOTOのユニットバスに、しっかりと断熱工事をプラス。床下・壁・天井に断熱材を施工し、冬でもヒヤッとしないう、あたたかなお風呂時間を実現しました。光熱費の節約にもつながり、体にもお財布にもやさしい快適空間に。これからの住まいづくりの参考に、ぜひご覧ください。

洗面室、トイレにも同様な断熱工事をしています。床下は先月ご紹介したキッチンと同様で90mmと60mmの断熱材を2段重ね150mmの断熱材で施工しています。



洗面室改修前



洗面室改修後

改修前は間口が狭くて洗面台が入らなかったため、陶器の洗面器をつけていたが、ユニットバスにすることで浴室側にゆとりができたので75cm幅の洗面化粧台が設置できた。窓も高断熱のサッシに交換したので冬の寒さが違ってきます。

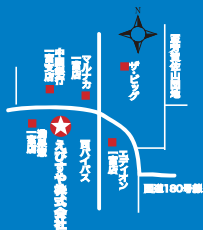


トイレ改修前



トイレ改修後

窓には、この後、内窓を施工しています。便器も超節水型で、照明器具はLED、床、壁、天井にそれぞれ断熱材を施しているので、健康にもよく、お財布にも優しい仕様となっています。床には無垢のオーク材。壁と天井には人に優しい漆喰塗料を塗布しています。



ご連絡先

086-284-6170
えびすや 株式会社



〒701-1211 岡山市北区一宮113-1 E-mail. info@ebisuya-net.co.jp
FAX. 086-284-6175

HP <https://www.ebi-ken.com>
こちらから無断でお伺いすることはできません。